

平成9年度 果樹関係秋冬期処理 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成9年度果樹関係秋冬期処理除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成10年7月22日(水)～23日(木)に静岡ステーションホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者59名、委託関係者31名ほか、計95名の参集を得て、除草剤6薬剤(41点)、生育調節剤11薬剤(57点)について、試験成績の報告

と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

また、7月23日(木)～24日(金)に現地検討会(静岡県柑橘試験場)及び研修会(静岡ステーションホテル)が開催された。

平成9年度 果樹関係秋冬期処理除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < > = 中間または 試験実施中 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量 g・ml<水量 ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. DKH-628 7077 [®] 剤 7サ [®] フェニゾ 11% グリサートトリメチウム塩 28% [デュボン、ゼネカ]	リンゴ	適用性 継 続	岩手農研、 宮城園試、 秋田果試鹿角、 群馬園試中山間、 長野果試 (5)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期(草丈30cm程度) ; 40、50、60ml<10ℓ> ; 茎葉処理 対: タチタ [®] ウツ液剤 50ml<10ℓ>	実	実) [リンゴ: 雑草全般] ・春～秋冬期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・40～60ml/a<10ℓ/a>. ・茎葉処理.
	ナシ	適用性 継 続	日本ナシ ; 埼玉園試、 長野南信農試、 鳥取園試 西洋ナシ ; 岩手農研 (4)		継	継) ・ナシ、モモの薬害発生要因につ いて、 ・秋冬期処理のナシ、オウトウの 効果、薬害について.
	ウツ	適用性 継 続	山形園試、 長野果試、 山梨果試 (3)			
	カンキツ	適用性 継 続	大分柑試津久見 (1)	[雑草全般] 早春期 雑草生育期(草丈30cm程度) ; 40、50、60ml<10ℓ> ; 茎葉処理 対: タチタ [®] ウツ液剤 50ml<10ℓ>	実 継	(前回判定どおり) ・実) [カンキツ: 雑草全般] ・早春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・40～60ml/a<10ℓ/a>. ・茎葉処理. 継) ・秋冬期処理の継続.
2. MON-96A 液剤 グリサートアモニウム塩 41% (つづく)	リンゴ	適用性 新 規	(翌春調査) 長野南信農試 (1)	[スギナ] 春期 生育期(草丈20～25cm程度) ; 150ml<2.5、5.0ℓ> 180ml<5ℓ> ; 茎葉処理 対: タクト [®] ア [®] 液剤 200ml<5ℓ> (共に少水量散布ノズル)	実 継	(前回判定どおり) ・実) [リンゴ: 雑草全般 (スギナを除く)] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・一年生雑草対象: 25～50ml/a 多年生雑草対象: 50～100 <2.5～5.0ℓ/a (専用ノズル使用)、 5.0～10.0ℓ/a>. ・茎葉処理. 継) ・効果、薬害の確認.

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < > = 中間または 試験実施中 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
2. MON-96A 液剤 (つづき)	ブドウ	適用性 新 規	(翌春調査) 埼玉園試、 長野中信農試、 <大阪農技> (2)		実 ・ 継	(前回判定どおり) ・実[ブドウ、ナシ、オウトウ、 モモ、ウメ、カキ、クリ : 雑草全般(スギナを除く)] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・一年生雑草対象: 25～50ml/a 多年生雑草対象: 50～100ml/a <2.5～5.0g/a> (専用/ス [®] 使用)、 5.0～10.0g/a>. ・茎葉処理. (継) ・効果、薬害の確認.
	ナシ	適用性 新 規	(翌春調査) 埼玉園試、 岐阜農総研、 <佐賀果試> (2)			
	カンキツ	適用性 継 続	(翌春調査) 静岡柑試、 愛知農総試園研 内海、 山口大島柑試、 大分柑試 (4)		実 ・ 継	実[カンキツ: 雑草全般] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・一年生雑草対象: 25～50ml/a 多年生雑草対象: 50～100ml/a <2.5～5.0g/a> (専用/ス [®] 使用)、 5.0～10.0g/a>. ・スギナ対象: 150～180ml/a <2.5～5.0g/a> (専用/ス [®] 使用). ・茎葉処理. (継) ・スギナに対する翌春の効果確 認.
[日本モンサント]						
3. NH-501 7077 [®] 液剤 グリネサートトリメシウム塩 28.5 % ピラフルフェンエチル 0.19%	リンゴ	適用性 新 規	岩手大学、 秋田果試、 栃木農試、 群馬園試中山間、 長野南信 (5)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ; 40、50、60ml<10g> ; 茎葉処理 対: タチタ [®] 液剤 40ml<10g>	実 ・ 継	実[リンゴ: 雑草全般] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・40～60ml/a<10g/a>. ・茎葉処理. (継) ・秋冬期処理の効果、薬 害の確認.
	ナシ	適用性 新 規	青森りんご試 県南、 福井農試、 兵庫北部農技、 長崎果試、 大分農技 (5)		実 ・ 継	実[ナシ: 雑草全般] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・40～60ml/a<10g/a>. ・茎葉処理. (継) ・秋冬期処理の効果、薬害の確 認.
	カンキツ	適用性 継 続	大阪農技、 広島農技果樹 常緑、 愛媛果試岩城、 宮崎総農試 (4)		実 ・ 継	実[カンキツ: 雑草全般] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・40～60ml/a<10g/a>. ・茎葉処理. (継) ・秋冬期処理の効果、薬害の確 認.
[日本農薬、ゼネカ]						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < > = 中間または 試験実施中 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
4. PR-084 液剤 (オルゼット液剤) グリホサートトリメチル塩 32 % ジメット 1.9% [オルゼット協議会 ; ゼネカ]	リンゴ	適用性 新 規 (8年度)	秋田果試 (1)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ; 25、40、50ml<10ℓ> ; 茎葉処理 対: ホアラシ液剤 40ml<10ℓ>	実	実)[リンゴ: 雑草全般] ・春～秋冬期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・春～夏期: 25～75ml/a、 秋冬期: 25～50ml/a<10ℓ/a>. (但し、25ml/aは 一年生雑草対象). ・茎葉処理.
		適用性 継 続	岩手農研、 長野果試、 長野南信農試 (3)			
5. SC-224 液剤 (タッチダウン) [タッチダウン協議会 ; ゼネカ]	ナ シ	適用性 新 規 (7年度)	(翌春調査) 埼玉園試 (1)	[雑草全般; 処理時期の拡大] (翌春の抑草効果) 秋冬期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 20、30、40ml<10ℓ> ; 茎葉処理 対: ホアラシ液剤 40ml<10ℓ>	実	(前回判定どおり) 実)[ナシ: 雑草全般] ・秋冬期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・20～40ml/a<10.0ℓ/a>. ・茎葉処理. 注)・砂土、砂壤土での高濃度の 使用は薬害の可能性があるので 注意する.
6. グリホサート 液剤 (ラウンドアップ) グリホサートイソプロピルアミン塩 41% [日本モンサント]	ナ シ	(自主)	愛媛果試 (0)		実	(前回判定どおり) 実)[ブドウ、ナシ、オウトウ ; 雑草全般] ・秋冬期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・25～50ml/a<2.5～5.0ℓ/a> (専用/スプレー使用). ・茎葉処理.
	ナ イ フルーツ	(自主)	愛媛果試 (0)		—	—

B. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < > = 中間または 試験実施中 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. CX-10 液剤 シナミド 10% [日本カーバイド工業]	ブドウ	適用性 継 続	山梨果試、 岡山農試 (2) (自主) 山梨果試、 島根農試、 岡山農試	[新播の萌芽促進、発芽率向上] 11月～1月 ; 20～100倍液 <散布: 15～20ℓ> ; 立木全面散布又は塗布 対: 無処理 ; 詳細は、別途協議	実・ 継	実)[ブドウ(施設); 新梢の萌芽 促進及び発芽率の向上] ・11月～1月. ・20～100倍液の結果 母枝へ塗布又は散布(15～20ℓ/a) 及び100倍液の立木全面散布. 継) ・その他の栽培法(時期、品種等 を含む)について.

B. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < > = 中間または 試験実施中 (数) (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
2. NB-27 液剤 (フラスター液剤) メコートロリド 44% [日本曹達]	ブドウ (巨峰)	適用性 継 続	(翌春調査) 長野中信農試、 山梨果試、 〈広島農技果樹〉、 〈香川農試府中〉 (2)	[遅伸び防止] (果実品質に対する影響) (新梢登熟率と翌春の発芽率) 花振り防止に、新梢展開葉7~8 枚時、500倍処理樹を用いて検討 ①満開15日後 ②満開35日後 ;500倍液 ;立木全面散布 対:無処理	実 継	(前回判定どおり) ・実[ブドウ(巨峰):遅伸び防止] ・満開後30~35日. ・500倍(15ℓ/a). ・立木全面散布. 継) ・時期、樹勢、薬害の確認.
3. ジベレリン 水溶剤 (ジベレリン協和粉末) (ジベレリン明治) (ジベレリンTM顆粒) ジベレリン 3.1% [日本ジベレリン研究会 ;協和発酵工業]	リンゴ (紅玉)	適用性 継 続	静岡柑試、 愛媛果試、 鹿児島果試 (3)	[水腐れ防止] ①着色開始時~1分着色期 1ppm ②着色開始時~1分着色期 2ppm ③3~4分着色期 1ppm ④3~4分着色期 2ppm ;枝別散布 展着剤77°FBI 1,000倍加用 対:無処理	継 継	・効果、薬害の確認.
4. CS-2H 水溶剤 (セルバイン) 硫酸カルシウム水和物 57% 塩化カルシウム 27% その他 16% [白石カルシウム]	リンゴ (紅玉)	適用性 継 続	愛媛果試 (1)	[浮皮防止(予措)] ①8/下→9/下 300倍液 2回 ②8/下→9/下→10/中 300倍液 3回 ③カルシウム水和剤 着色開始期から100倍液 2回 〈果実から滴り落ちる程度〉 ;枝別処理 (着色の早い品種での秋期処理 は、着色開始期までに終了する) 対:無処理	実	(前回判定どおり) 実[リンゴ(紅玉):浮皮防止] ・夏秋期、20~30日間隔の2~3回 散布. ・300倍液(果実から滴り落ちる 程度). ・立木全面散布.
		適用性 継 続	神奈川農総研 根府川、 静岡柑試、 和歌山果園試 (3)	[予措(浮皮防止)] ①8/下→9/下→10/中 300倍液3回 ②9/下→10/中→11/中 300倍液3回 ③カルシウム水和剤 着色開始期から100倍液2回 〈果実から滴り落ちる程度〉 ;枝別処理 対:無処理	継 継	・効果の確認.
	リンゴ (紅玉)	作用性 継 続 新 規 (7年度) 作用性 継 続 (8年度)	果樹試(口之津)(1) 〈熊本農研果研〉 (0) 〈熊本農研果樹〉 (0)	[果皮障害の予措:カボ症、 水腐れ、焼け等] (参考設計):詳細は、一任 実生育旺盛時 ;300倍液 3~5回散布 〈果実から滴り落ちる程度〉 ;枝別処理 対:無処理	- -	

B. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < > = 中間または 試験実施中 (数) (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量 g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
5. MB-975 液剤 既知化合物 A 64% 既知化合物 B 16% [丸和ハイテクカ]	早生 ウツシユ ミカ	作用性 新 規	鹿児島大学、 静岡柑試	[減酸] (参考設計): 詳細は一任 ①7/上・/下・8/中 200倍液3回 ②7/上・/下 200倍液2回 ③ 7/下・8/中 200倍液2回 ④7/上 8/中 200倍液2回 ⑤9/上・/下・0/中 200倍液3回 ⑥9/上・/下 200倍液2回 ⑦ 9/下・0/中 200倍液2回 ⑧9/上 0/中 200倍液2回 〈果実から滴り落ちる程度〉 ; 枝別処理 展着剤77°DFBI 2,000倍加用 対: 無処理	継 定	(前回判定どおり) 継)・効果の確認。
6. PDJ + GA ₃ (現地混用)液剤 n-propyl Dihydroja smonate(PDJ) 5% Gibberellic Acid (GA ₃) 4% [日本セノ、トメツ]	日向夏	作用性 新 規	静岡柑試伊豆 〈愛媛果試南予〉	[着果向上、果実肥大] : 別途協議	— 定	(前回判定どおり) —
7. RIC-1 液剤 海藻ヒジネート	カラチ・ ヒリュウ	作用性 継 続	鹿児島大学	[樹勢強化・品質向上] 土壌処理及び葉面散布 : 土壌 3月下旬〈原液100ml〉 : 葉面 5月上中旬、5月下旬 の2回 ①土壌→葉面 5,000倍液 ② " → " 3,000倍液 (前年と同一樹で実施) 対: 無処理	— 定	(前回判定どおり) —
	清 見	作用性 継 続	果樹試み部 (口之津) (1)	[樹勢強化・品質向上] (5年連用試験を希望) 詳細は、申請書を参照	— 定	(前回判定どおり) —
	不知火	作用性 継 続	果樹試み部 (口之津) (1)		継 定	(前回判定どおり) 継)・効果の確認。
	不知火	適用性 継 続	愛媛果試岩城(2) (2)	[樹勢強化・品質向上] (連年処理希望) 詳細は、申請書を参照		
	伊予柑	適用性 継 続	媛果試岩城 (1)	[樹勢強化・品質向上] (連年処理希望) 詳細は、申請書を参照	実 継 定	(前回判定どおり) 実)[伊予柑: 樹勢強化による 着果安定及び果実肥大促進] ・3月: 土壌灌水 +4月~9月: 立木全面散布. ・灌水: 0.1ℓ/a<500~1000倍液> 散布: 5,000~3,000倍液<25~ 50ℓ/a>、1ヶ月毎に4~6回. 継)・効果の確認。
[ロイヤルダストリーズ]						

B. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < > = 中間または 試験実施中 (数) (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 :薬量g・ml<水量ml>/a :処理方法等	判 定	内 容
8. HOK-813 乳剤 フェノール 20%	伊予柑	適用性 継 続	静岡柑試伊豆、 和歌山果園試、 広島農技果樹 柑橘、 山口萩柑試、 香川農試府中、 愛媛果試 (6)	[へた落ち防止] ①収穫前10日 50ppm ② " 100 ③対: " 30日 100 ④対: " 10日GR-58乳剤 100ppm ⑤無処理 :立木全面散布 <果実から滴り落ちる程度>	実・ 継	実)[伊予柑、甘夏、ネーブルオレンジ: へた落ち防止] ・収穫前30～10日、1回散布。 ・4,000～2,000倍(50～100ppm). ・立木全面散布. 継) ・効果、薬害の確認.
	甘 夏	適用性 継 続	静岡柑試伊豆、 三重農技紀南、 広島農技果樹 柑橘、 山口萩柑試、 香川農試府中、 徳島果試 (6)	[へた落ち防止] ①収穫前10日 50ppm ② " 100 ③対: " 30日 100 ④対: " 20日 GR-58乳剤 66.7ppm ⑤無処理 :立木全面散布 <果実から滴り落ちる程度>		
	ネーブル オレンジ	適用性 継 続	静岡柑試、 広島農技果樹 柑橘、 山口萩柑試、 香川農試府中、 徳島果試、 熊本農研果樹 (6)			
	伊予柑	薬 害 新 規	香川農試府中、 愛媛果試 (2)	[倍量薬害] 収穫10日前 ① 200ppm ②対:100ppm ③無処理 :立木全面散布 <果実から滴り落ちる程度>		
	甘 夏	薬 害 新 規	香川農試府中、 徳島果試 (2)			
	ネーブル オレンジ	薬 害 新 規	香川農試府中、 徳島果試 (2)			
〔北興化学工業〕						
9. GR-58 乳剤 (マデック) MCPB 20% 〔アグロ カネショウ〕	ネーブル オレンジ	適用性 継 続 (6年度) (自主) 果樹試験研究部 (口之津)	熊本農研果研 (1)	[越冬果実の落果防止] 11月中旬と12月中旬の2回散布 ①無処理 ②3,000倍→3,000倍 ③2,000倍→2,000倍 :立木全面散布 (袋掛けする場合は最終散布後)	実・ 継	(平成6年度どおり) 〔ネーブル:冬季の落果防止〕
10. AKD-8083 乳剤 MCPB 20% (製剤変更)	伊予柑	作用性 継 続	<果樹試験研究部 (口之津)>、 鹿児島大学 (1)	[へた落ち防止 (越冬果実の落果防止)] 収穫20～10日前1回散布 ①無処理 ②3,000倍 ③2,000倍 ④対:GR-58乳剤 2,000(又は3,000)倍 <30～40 g/a> :立木全面散布又は枝別散布 :(常温貯蔵による)	実・ 継	実)[伊予柑:へた落ち防止] ・収穫前20～10日、1回散布。 ・3,000～2,000倍<30～40 g/a>。 ・立木全面散布。 継) ・効果、薬害の確認.

B. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < > = 中間または 試験実施中 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
10. AKD-8083 乳剤 (つづき)	伊予柑	適用性 継 続	香川農試府中、 愛媛果試	[へた落ち防止、2倍葉害試験] 収穫20~10日前1回散布 ①無処理 ②3,000倍 ③2,000倍 ④1,000倍(葉害) ⑤対:GR-58乳剤 2,000(又は3,000)倍 <30~40ℓ> ; 立木全面散布又は枝別散布 (2); (常温貯蔵による)		
	伊予柑	適用性 継 続	和歌山果園試、 広島農研果研、 山口萩柑試	[へた落ち防止] 収穫20~10日前1回散布 ①無処理 ②3,000倍 ③2,000倍 ④対:GR-58乳剤 2,000(又は3,000)倍 <30~40ℓ> ; 立木全面散布又は枝別散布 (4); (常温貯蔵による)		
[79°ロ カネショウ]						
11. P P - 3 3 3 7077°ル剤 ハ°クワ°トラロール 21.5%	カンショ ミカ	(自主)	果樹試かみ部 (口之津)(2)、 熊本農研果研(2)		実 ・ 実)[カンショミカ:新梢伸長抑制] ・ 1月下旬~新梢発芽5mm以下。 継 500~250倍 1回散布。 ・ 立木全面散布。 注) ・ 樹勢の弱い樹には使用しない。 継) ・ 処理時期及び濃度の確認。	
[ゼネカ]			(4)			

原色図鑑 芽ばえとたね

浅野 貞夫／著

A4版 本体9,800円(税別)

芽ばえの姿はどうなんだろう。本書は、植物の芽ばえのようすを克明に表わした精密図版と、種・成植物の写真による植物の一生図鑑です。成植物のみの図鑑と異なり、芽ばえのようすから紹介しているため、植生などの調査にたいへん役に立つとの声が寄せられています。

全国農村教育協会

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6
Tel. 03-3833-1821 Fax. 03-3833-1665